

JSCA

一般社団法人

JSCA

日本建築構造技術者協会
Japan Structural Consultants Association



◆JSCA 賞

創意工夫あふれた構造設計や優れた技術を開発した会員を表彰します。新しい技術、構造の面白さ・楽しさ・素晴らしさを広め、優れた建物を世に送り出すことを意図しています。

表紙写真

1	3
2	
4	5

- 1/第26回JSCA賞作品賞
谷川充丈:ROKI Global Innovation Center
- 2/第28回JSCA賞作品賞
奥出久人:市立吹田サッカースタジアム
- 3/第29回JSCA賞作品賞
山田祥平:大塚グループ大阪本社 大阪ビル
(撮影:Kouji Okamoto)
- 4/第27回JSCA賞作品賞
村上博昭:立教大学ロイドホール「18号館」
(撮影:米倉栄治)
- 5/第26回JSCA賞作品賞
平川恭章:あべのハルカス(撮影:SUZUKI hisa)



第29回JSCA賞新人賞 小林直樹
埼玉工業大学ものづくり研究センター(撮影:日暮雄一)



第29回JSCA賞奨励賞 下西智也
豊中市立文化芸術センター



第28回JSCA賞新人賞 斎藤慶太 TOYAMAキラリ



第28回JSCA賞奨励賞 浜田勇気
日本橋ダイヤビルディング
(撮影:藤井浩司(ナカサンドパートナーズ))



第28回JSCA賞業績賞 瀧正哉,黒川泰嗣
新宿三井ビルディングの制震改修



第28回JSCA賞新人賞 川口 恵
G.Itoya(撮影:近代建築社)

◆会誌「structure」

新しい技術や研究成果・協会活動などを満載した会誌を季刊で発行しています。会員のみならず、行政機関や研究機関などでも活用され、好評をいただいております。



◆シンポジウム・講演会

JSCAの研究成果、活動成果などを発表し、広く意見を交換する場として構造デザイン発表会、シンポジウム及び講演会などを主催しています。ホームページに開催案内を載せており、一般・学生の方も参加できます。

◆構造レビュー

会員の設計(診断・補強も含む)に対し、経験豊かなJSCA建築構造士が助言・提案を行う「構造レビュー委員会」があります。より良い建物とするために協会がお手伝いする制度で、新しい技術に取り組む会員にとって“力強い味方”となっています。

◆国際交流・国際支援

1984年から米国、1993年から中国と、構造に関する交流会を隔年で開催しています。1998年から世界構造技術者会議(SEWC)の共催者となり、これらの活動を通じ構造技術者の国際的連帯を深めています。また、国際緊急援助隊への構造技術者派遣などにより、国際支援にも協力しています。

◆耐震診断・耐震補強

古い基準で建てられた建物の性能を調べ、必要に応じて補強を行うことは大切なことです。阪神・淡路大震災がその重要性を教えてくれました。地震国日本の既存建物を震害から守るため、さまざまな技術や情報を蓄積し、ホームページで提供しています。

「安心できる建物をつくるために」パンフレット

安心できる建物をつくるために
— 構造設計者と共に考えましょう —

大地震にも建物が壊れないようにしたいのですが、
【耐震設計の考え方】…1~2ページ

私が最も耐震性能の建物をつくってくれるのですか？
【構造設計者の役割】…3~4ページ

建物の構造にはどんな種類があるのですか？
【建物の構造とは】…5~6ページ

安全だけでなく安心できる建物にしたいのですが、
【耐震性能グレードについて】…7~9ページ

建物が壊れたときの補償はどうなるのですか？
【契約・保険・業務報酬】…10ページ

一般社団法人 日本建築構造技術者協会
Japan Structural Consultants Association

「安心できる建物をめざして JSCA性能設計」

安心できる建物をめざして
JSCA性能設計
【耐震性能編】
The Guide to Safe Buildings
JSCA PERFORMANCE-BASED SEISMIC DESIGN

一般社団法人 日本建築構造技術者協会
Japan Structural Consultants Association

ホームページのご案内

JSCA

北海道厚岸郡厚岸町におよび10月17日で被災を契りに被災し、被災地、心よりの復興、定例上げます。

ようこそJSCAウェブサイトへ

JSCAは皆さんの希望する建物の安全・安心・信頼、品質向上に貢献しています。多くの方々へJSCAの存在を知っていただき、共に創ることができる仲間の人を募集いたします。

お知らせ

- JSCA構造設計団体向けのご案内
- 構造設計一級建築士会様へのご案内
- 「構造設計一級建築士会」の役割とJSCAの役割
- 2019/10/14 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/14 最新JSCA性能設計ガイド(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/14 構造設計一級建築士会様へのご案内(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/14 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)

JSCA性能設計【耐震性能編】

この度、2019年特別刊行「JSCA性能設計【耐震性能編】」のパンフレットを完成いたしました。お申し込み、お問い合わせください。

更新情報

- 2019/10/18 シンポジウム「構造設計」開催のご案内 (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/12 建設一級建築士会様へのご案内(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/20 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/18 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/27 (任意)人材情報提供情報
- 2019/10/18 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/18 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/27 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)
- 2019/10/18 JSCA構造設計団体向け業務報酬一覧(第1版) (JSCA構造設計団体)

お問い合わせ

〒102-0075 東京都千代田区三番町24番地 林三番町ビル3F
TEL.03-3262-8498 FAX.03-3262-8486
URL: http://www.jsca.or.jp E-Mail: info@jsca.or.jp



アクセス
JR市ヶ谷駅 徒歩6分
地下鉄 有楽町線、南北線、都営新宿線 市ヶ谷駅(A3出口) 徒歩5分
地下鉄 半蔵門線 半蔵門駅(5番出口) 徒歩8分

一般社団法人
日本建築構造技術者協会
Japan Structural Consultants Association

JSCA本部
〒102-0075 東京都千代田区三番町24番地 林三番町ビル3F
TEL.03-3262-8498 FAX.03-3262-8486
URL: http://www.jsca.or.jp E-Mail: info@jsca.or.jp

JSCA大阪事務所
〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-8-31 安田ビル2F
TEL.06-6446-6223 FAX.06-6446-6224

入会のお問い合わせは、JSCA 本部までご連絡ください。

構造、
あんしん。



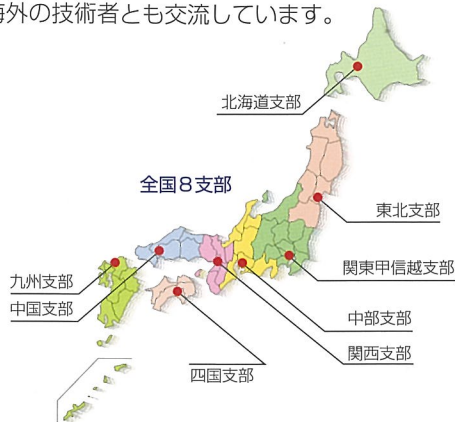
JSCA会員は建物の

JSCAは建築構造技術者の団体です

◆ JSCAとは

一般社団法人日本建築構造技術者協会（略称 JSCA [ジャスカ] : Japan Structural Consultants Association) は、1989年に設立された、建築構造技術者の団体です。（構造設計者は業務として構造設計や構造（工事）監理業務を行う者のことです。建築構造技術者は、建築構造関連の業務に携わる者の総称です。）

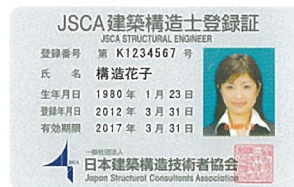
JSCAは、要求された性能を持ち、安全で、地球にやさしく、永持ちする建物の提供に貢献しています。正会員は一級建築士であることを基本とし、全国8支部で約4,000名です。また海外の技術者とも交流しています。



◆ JSCA 建築構造士とは

JSCA建築構造士とは、一般社団法人日本建築構造技術者協会[JSCA]の責任において、社会に推薦している構造設計者の呼称です。当協会は、優れたJSCA建築構造士を推奨していくために構造設計一級建築士を対象に資格認定試験を行い、技量・資質の判定を行っています。現在登録されているJSCA建築構造士は全国で約1,700人です。

JSCA建築構造士は、豊富な専門知識と経験を基に優れた技術力を用いて、構造計画の立案から構造の設計図書作成までを統括し、構造に関する工事監理も行うなど、構造設計一級建築士の中でも特に建築構造の全般について、的確な判断を下すことができます。これらの実務能力に加えて発注者・社会への設計説明能力や高い職業倫理を有し、職能向上に寄与する活動を行うなど、建築構造設計界をリードする技術者です。



登録証(見本)

※詳しくは、別リーフレット「JSCA 建築構造士について」をご参照ください。

JSCAは社会的活動を行っています

◆ 大震災での活動

阪神淡路大震災、東日本大震災及び熊本地震などでは、応急危険度判定をはじめ、さまざまな面で、震災直後の対応、震災からの復興に協力しました。



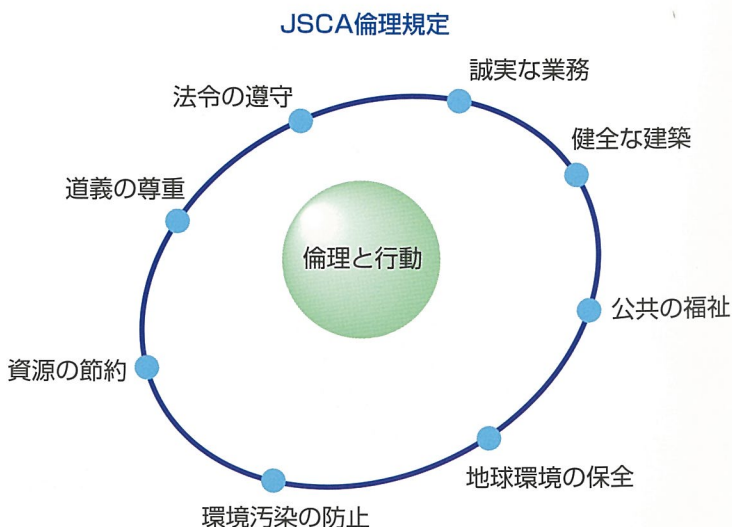
地震後の被災度調査活動

◆ 構造レビューによる安全性の検証

JSCAでは、建物のより良い設計を実現するために構造安全性を評価する構造レビュー（審査）を行っています。耐震偽装問題では、皆様から構造に関して詳細な検討の依頼があり、専門家の立場から構造レビューを実施し設計検証を行いました。

◆ JSCA の倫理と行動

JSCAでは会員に責任ある行動を取ることを求める「倫理規定」「行動規範」を制定し、会員ひとり一人がそれに基づき行動することを求めています。

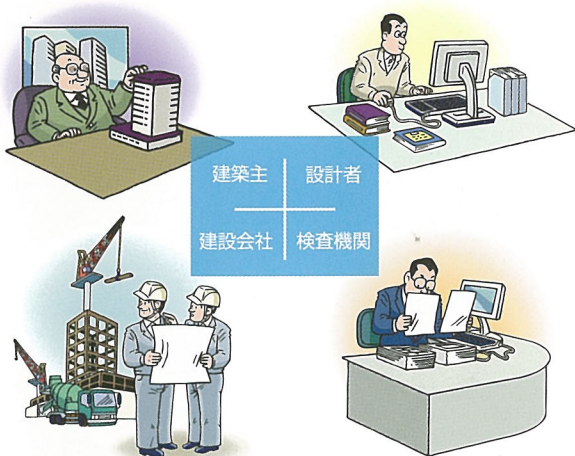


安全・あんしんを確保する活動を

建築設計には構造設計者が必要です

◆ 建築に携わる人々

建築には、その建築の大小に関わらず、建築主から、設計者、確認申請機関（検査機関）、建設会社等多くの人々が携わっています。

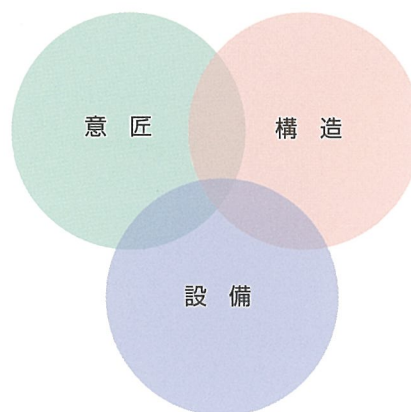


◆ 建築設計の3種類の業務

建築の設計は、大きくは、意匠・構造・設備の専門家の協業により行われます。

構造設計者は、建築の骨組みを考え、常時だけでなく、地震や台風などで骨組みが壊れないようにするのが役割です。

まさに、建物の屋台骨の設計を担っているのです。



構造設計には構造計画が重要です

◆ 構造計画

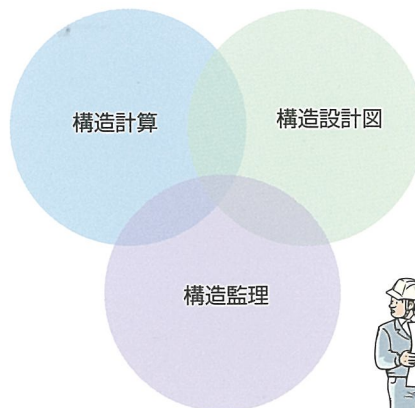
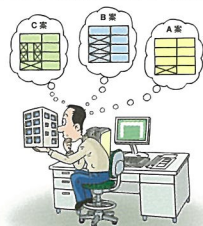
構造設計者は最適の骨組みを設計するためにあらゆる可能性を考慮して設計方針をきめていきます。その際に経験や能力を駆使してバランスよくさまざまな要素を熟慮して計画する

必要があります。

このようにして立案された構造計画をもとにして、構造計算、構造図作成、構造監理を行います。

構造計算により計画内容を繰返し検証することで実施レベルの設計内容へと詰めていきます。

現代ではコンピューターが使われ計算時間は短縮されましたが、正しい計算には適切なモデル化が必要です。構造設計者にはモデル化に際しての十分な知識と適切な判断力が求められます。



構造計画で考えたことや構造計算で検証した結果を図面化し、意匠設計者や施工者にわかる形にしていきます。

計算によって安全性が検証された構造計画と整合のとれた図面を作成する必要があります。



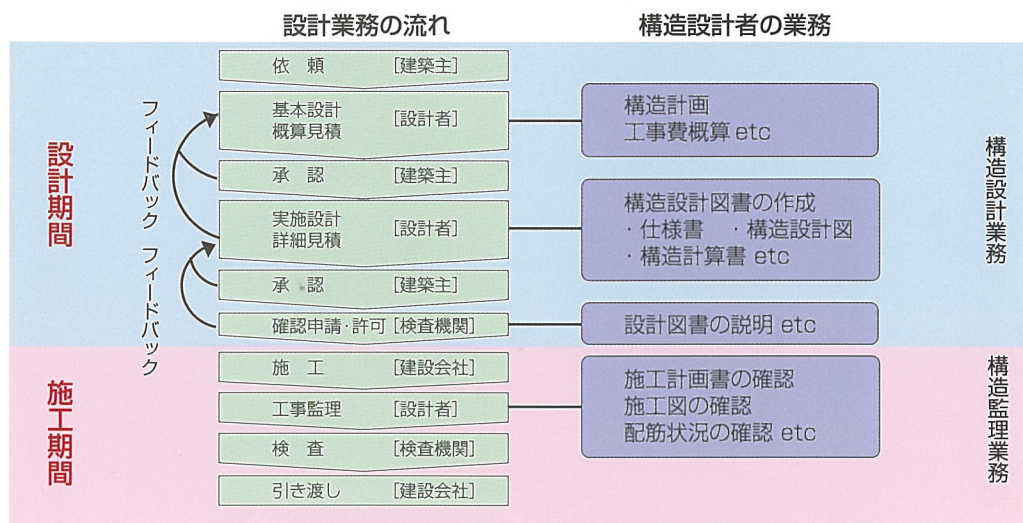
設計図書に基づき適切な施工が行われるよう監理を行います。

を通じて社会に貢献しています

構造設計者は様々な業務を行っています

構造設計では、建物の基本となる構造計画の立案、建設のための構造設計図書の作成、確認申請や審査への対応などを行います。構造監理では、設計図書の内容を確実に実現させる

ために施工図の確認や配筋検査（鉄筋が配筋されている状況の確認）等施工者からの資料や構造に関わる現場の状況を設計図書と照らし合わせて確認します。



第一に目指すものは安全性の確保です

◆ 構造設計が目指すもの

構造設計の第一の使命は、安全で快適な空間をリーズナブルな価格の構造体で実現することです。経済性や高機能性といった、場合によっては相反するさまざまな条件をも満足させながら、安全性を確保することが重要となります。

◆ 安全性確保のために

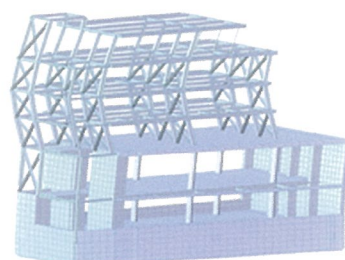
地盤調査や風洞実験など、必要な調査や実験を行い、その結果に基づき設計しています。構造設計を行うにあたっては、建物の規模や形状、構造方式に応じて、より適切な解析を行い安全性を確認しています。

◆ 構造(工事)監理の重要性

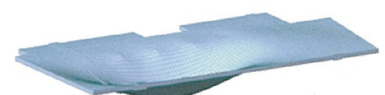
安全な建物は適切な計画・設計だけでは実現できません。設計に拠り決められた構造を、実際の建物として実現するために、品質が確保されていることを確認する工事監理も重要です。



風洞実験



建物の振動解析



床の振動解析